

小型から大型まで、充実のラインナップ

炭酸泉で心も身体もリフレッシュ

炭酸泉は体感温度が2℃程高く感じられ、ぬるめのお風呂でも寒く感じません。36℃～38℃のお風呂にゆっくり浸かることで、心身ともにリフレッシュできます。

新陳代謝が活発に

炭酸泉は毛細血管の血流を4倍くらい増やしてくれます。血流が増加すると細胞への酸素・栄養・水分の補給が増加し、新陳代謝を活発にしてくれます。これにより、疲れが取れることはもちろん、筋肉痛や足腰の痛みも解消されます。さらに、お肌の疲れも解消して、若々しい肌に戻ってきます。

無数の泡が身体を包み込みます

高濃度炭酸泉(1,000ppm以上)に浸かると、肌に無数の泡が付いてきます。まるで、サイダーのお風呂に入っているかのようです。



ヴェータ炭酸泉の特徴

安全性と経済性を両立

ヴェータ独自の技術が可能にした構造により、効率良く炭酸ガスをお湯に溶かし込みます。余分な炭酸ガスを溶かさないので、安全性が高く経済性も抜群です。炭酸ガスの溶解効率90%以上です。

今ある施設にも取り付けられます

今ある循環保温濾過システムに、簡単に取り付けられます。接続は濾過器下流で分岐して炭酸名泉に接続し、炭酸名泉から出た配管を熱交換器の下流に合流させるだけです。

フルオート機能を搭載

装置の運転は、365日24時間タイマーにより、フルオートです。日にちごと(あるいは曜日ごと)、時間ごとに運転パターンを設定でき、手間いらずです。

設置場所を選びません

本体の設置は、一般的には機械室ですが、場所が無い場合は、屋外に設置することも可能です。(防雨仕様です)。

メンテナンス・フリー

ヴェータ独自の方式により、目詰まりの起こらない構造になっており、メンテナンスは1年に1回行うだけで長期安心してご使用いただけます。



TN-1000

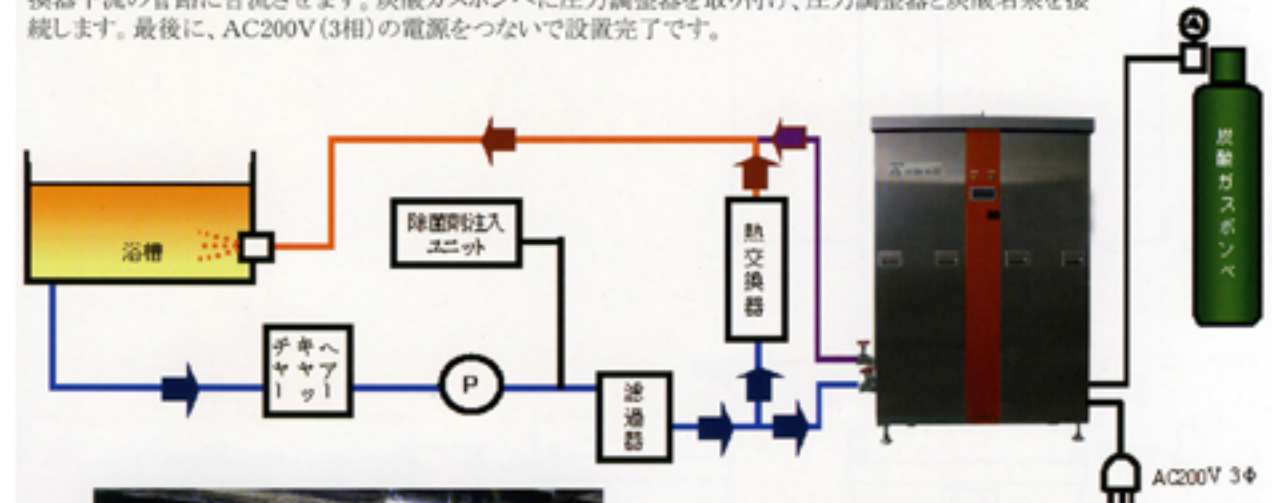


TN-8000

設置イメージ

循環濾過システムへの組み込み

濾過器から出た管路を分岐して、1本を炭酸名泉の吸込み側に接続します。炭酸名泉の吐水側から熱交換器下流の管路に合流させます。炭酸ガスボンベに圧力調整器を取り付け、圧力調整器と炭酸名泉を接続します。最後に、AC200V(3相)の電源をつないで設置完了です。



リモコンユニット(オプション)

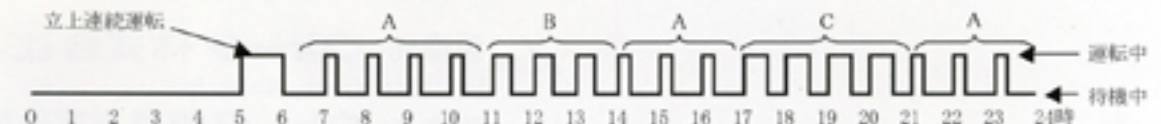
操作部は、本体前面にあります。操作部を本体から離れた所に移設する場合には、オプションのリモコンユニットを設置します。



プログラムによる自動運転イメージ

指定された時間に自動的に立上連続運転を開始し、その後は、間欠運転により炭酸泉の濃度を保ちます。下のイメージ図では、A,B,Cの3種類の間欠運転モードで運転を行います。通常間欠運転(A)とお客様が増える時間帯のみ間欠運転時間を増やした(B)および(C)のパターンで運転します。(BはAより少し間欠運転時間を増加したもの、CはBよりさらに時間を増加した間欠運転です:5種類の間欠運転時間設定ができます)

※下図は、イメージ図で、実際には間欠運転は15分間に何分運転するかを設定します。例えば、15分間に2分の運転を設定すると、2分運転して13分停止(待機)になります。この間欠運転時間は、浴槽の大きさにより決めます。



さらに、日曜日ごと、あるいは、日にちごとに異なるパターン(8種類)を設定でき、あらゆるニーズに対応できます。もちろん、自動運転ではなく、手動運転も可能です。